



学校だより

7月号

～友だちいっぱい 夢いっぱい 未来へ向かって かがやく星の子～



仲間とともに

校長 西松 亮介

6月は台風が三つも接近し、大雨に見舞われました。各地の被害状況に胸が痛むとともに、一日もはやい復興を願うばかりです。思えば、昨年度は梅雨とは名ばかりの猛暑日の連続だったと思います。水泳学習を楽しみにしている星の子たちにとっては残念な日が続きますが、休み時間、自分たちなりに考えてすごす姿が立派です。

少し前の話ですが、6月17日に、全校縦割り活動「なかよし day」を行いました。学年を越えたかわりの中で、たくさんの優しさにふれることができました。上級生が下級生に目線を合わせ、「大丈夫だよ。」「一緒にやろう。」「ちょっと待ってあげてね。」と声をかける姿や、その言葉に安心して一步を踏み出す下級生の姿がとても印象的でした。始めは緊張の面持ちだった1年生が、活動が終わるころには、6年生のお兄さんが困るくらい元気いっぱいきらきら笑顔に。これも、縦割り活動のよさです。

私も体育館で「上星川によっき」のチェックポイントとして参加しました。その中で、なかなかタイミングが合わず、何度もやり直す班がありました。「大丈夫かな。」と気になったのですが、そんな心配は全く無用。子どもたちはうまくいかないからといって投げ出すことなく、「もう一回やろう!」「次こそ!」と声をかけ合いながら何度もチャレンジしていました。やがて「なんか楽しいかもね。」と笑顔が広がり、場の空気もどんどん和やかになっていきました。

そして、ついにうまくいったときには、班のみんなで拍手をし、喜びを分かち合っていました。これこそが、自分たちで楽しむ姿であり、仲間とともに活動する喜びの本質であると感じました。

こうした経験は、目に見える成果だけでなく、人と関わる力や、あきらめずに取り組む心を育ててくれます。「なかよし day」で生まれたつながりと温かな気持ちが、これからの日常の中でもさらに広がっていくことを願っています。

7月は、夏休み前のまとめの時期です。これまでのがんばりを振り返り、一人ひとりが自分の成長を感じながら、次の一步へとつなげてほしいと思います。

これから本格的な夏を迎えます。体調に気をつけながら、子どもたちが元気に毎日を過ごせるよう、ご家庭での温かな見守りをお願いいたします。